

グローバル・フィンテック株式ファンド
 グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)
 グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり)
 グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)



今後も堅調なパフォーマンスが
期待されるフィンテック株式

グローバル・フィンテック株式ファンドは、2016年12月の設定来、市場を大きく上回るパフォーマンスを実現してきました。本資料では、当ファンドの運用状況と、運用者の見通しについて、ご紹介いたします。

※当資料において、「1年決算型」は「グローバル・フィンテック株式ファンド」を指します。

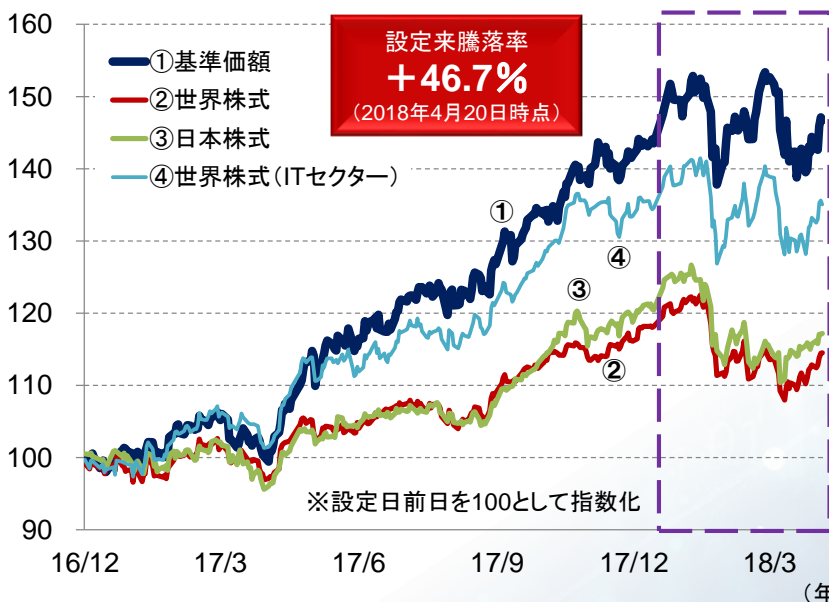
運用状況

荒い相場展開でも、総じて市場を上回るパフォーマンスに

- 当ファンドの基準価額は、2018年年初、米長期金利の上昇を背景とした市場変動の影響を受け、値動きが荒くなる場面もみられたものの、**総じて主要株価指数を上回る推移**となりました。

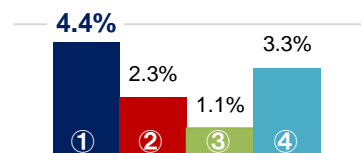
<設定来の基準価額(1年決算型)と主な株価指数の推移>

(2016年12月16日(設定日)~2018年4月20日)



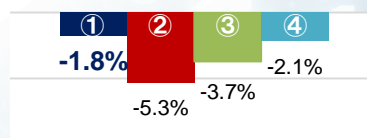
<期間別騰落率>

2018年1月
(2017/12/29~2018/1/31)



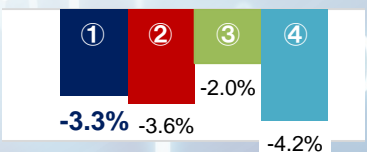
2018年2月

(2018/1/31~2018/2/28)



2018年3月

(2018/2/28~2018/3/30)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

※世界株式および世界株式(ITセクター):MSCI ACワールド指数(配当込、米ドルベース)およびそのセクター指数を日興アセットマネジメントが円換算、日本株式:TOPIX(配当込)

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・フィンテック株式ファンド」「グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)／(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
 ■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

※当資料において、「1年決算型」は「グローバル・フィンテック株式ファンド」を指します。

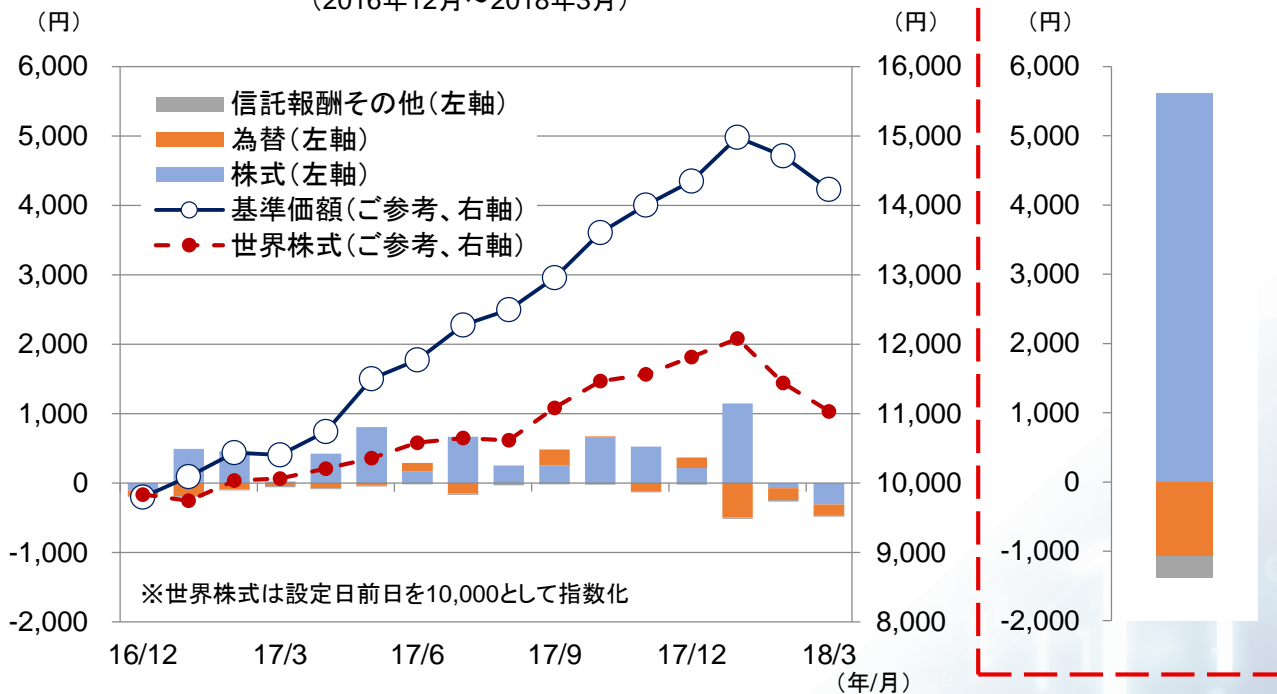
運用状況

「銘柄選択力」が支える持続的な好パフォーマンス

- 当ファンドの設定来の基準価額騰落においては、保有銘柄の株価上昇(株式要因)が主な押し上げ要因となっており、**助言会社であるアーク社の調査力を活用した銘柄選択が奏功している**と言えます。

＜基準価額(1年決算型)騰落の要因分解:月次＞

(2016年12月～2018年3月)



基準価額騰落は**16か月中12か月でプラス**

保有銘柄の株価上昇
に伴うプラスが積み上がり、
好パフォーマンスが実現

※2016年12月は、設定日から2016年12月末までの要因分解です。
 ※要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
 ※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ※世界株式:MSCI ACワールド指数(配当込、米ドルベース)を日興アセットマネジメントが円換算
 ※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当資料において、「1年決算型」は「グローバル・フィンテック株式ファンド」を指します。

株価動向

組入上位銘柄の多くは足元で設定来高値を更新

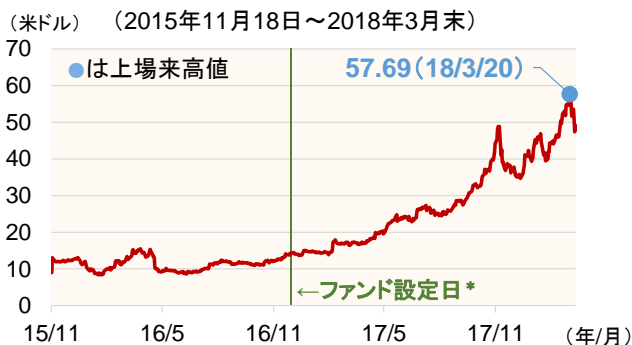
	当ファンドの組入上位銘柄 (2018年3月末時点)	上場来高値の更新日 (2018年3月末時点)
1	スクエア	2018年3月20日
2	アマゾン・ドット・コム	2018年3月12日
3	テンセント・ホールディングス	2018年1月23日
4	レンディングツリー	2018年1月23日
5	アリババ・グループ ホールディング	2018年1月26日
6	アテナヘルス	2014年3月4日
7	アップル	2018年3月12日
8	ペイパル・ホールディングス	2018年1月26日
9	SBIホールディングス	2006年1月16日
10	バイドゥ / 百度	2017年10月16日

- 組入上位銘柄の株価動向をみると、今年に入ってから上場来高値を更新した銘柄が**10銘柄中7銘柄**と、引き続き株価の上昇傾向がみられます。
- ただし、3月下旬にかけては、大手SNSの個人情報流出問題や米大統領によるアマゾン批判を受け、米ハイテク株が下落するなか、組入上位銘柄も調整する展開となりました。

(ご参考)組入上位銘柄の株価の推移①



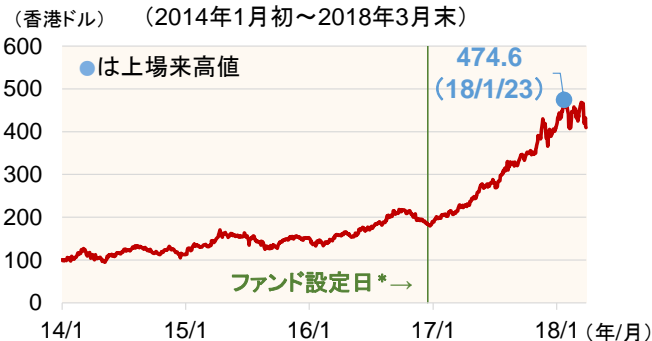
SQUARE 【スクエア】



AMAZON 【アマゾン・ドット・コム】



TENCENT 【テンセント・ホールディングス】



LENDING TREE 【レンディングツリー】



* 当ファンド(1年決算型)の設定日(2016年12月16日)

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、情報提供を目的として、2018年3月末時点のグローバル・フィンテック株式ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、株価推移を掲載したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

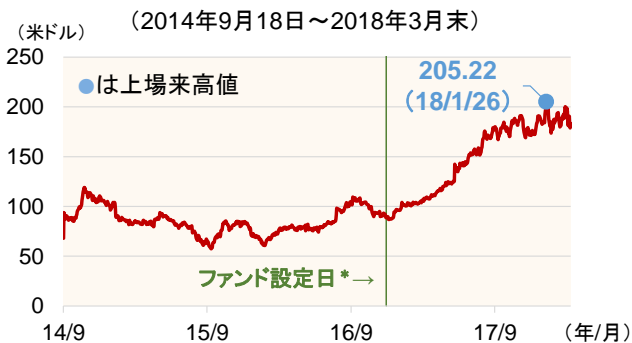
※当資料において、「1年決算型」は「グローバル・フィンテック株式ファンド」を指します。

(ご参考)組入上位銘柄の株価の推移②



ALIBABA

【アリババ・グループ ホールディング】



ATHENAHEALTH 【アテナヘルス】



APPLE 【アップル】

(2014年1月初～2018年3月末)



PAYPAL 【ペイパル・ホールディングス】

(2015年7月6日～2018年3月末)



SBIホールディングス

(2014年1月初～2018年3月末)



BAIDU 【バイドゥ/百度】

(2014年1月初～2018年3月末)



* 当ファンド(1年決算型)の設定日(2016年12月16日)

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

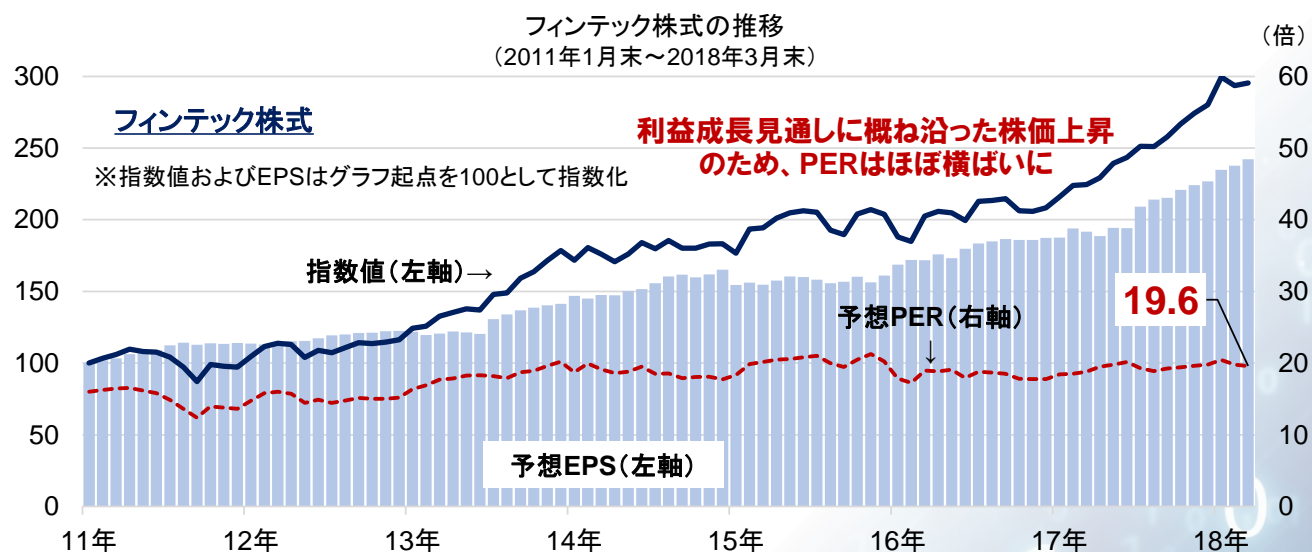
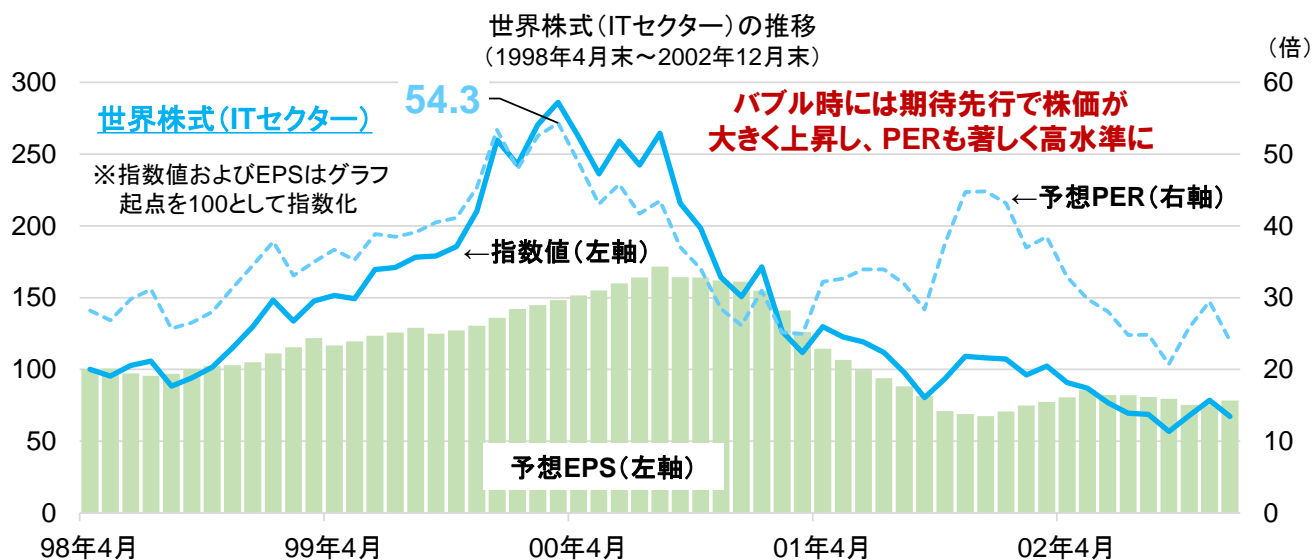
上記は、情報提供を目的として、2018年3月末時点のグローバル・フィンテック株式ファンドのマザーファンドの組入上位銘柄について、株価推移を掲載したものです。上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

バリュエーション

足元のフィンテック株式は「バブル」ではない水準

- ITバブル前後(1990年代末～2000年代初め)のITセクター指数と比較すると、**フィンテック株式の足元のPER(株価収益率)水準は相対的に低く、過去のバブルのような過熱感はみられない**と言えます。
- PERの「分母」にあたるEPS(1株あたり利益)と、「分子」にあたる株価(指数値)の推移をみると、バブル時のITセクターと異なり、足元のフィンテック株式は、EPSの水準も着実に上昇しており、**利益成長を伴った株価上昇**であると言えます。



※各指数の予想PERおよび予想EPSの算出において、該当データが取得できない銘柄は除外されています。

※フィンテック株式:ファクトセット・グローバル・フィンテック・インデックス(米ドルベース、プライスリターン)、

世界株式(ITセクター):MSCI ACワールド指数のITセクター指数(米ドルベース、プライスリターン)

※上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。

Factsetなど信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用者の視点

年初の運用状況と今後の見通し

組入上位銘柄の株価上昇がパフォーマンスの支えに

- 2018年年初以降、米国の金利上昇を背景に、株式市場で動揺が広がったものの、当ファンドでは、スクエアやアマゾンなど、主に**組入上位の銘柄の株価が堅調に推移し、パフォーマンスを支えました。**

【スクエア】

携帯アプリでビットコインの取り扱いを開始したことで注目を集めており、当ファンドでも現実世界の取引と仮想通貨(暗号)通貨を結ぶインターフェイスとして重要な役割を果たすとみています。

【アマゾン】

新たに始めた広告ビジネスの成長性に注目が集まっています。足元では、同社に対する課税強化の動きが懸念されていますが、当ファンドでは、同社が持つPOS(販売時点情報管理)システムを活かすことで、効率的な広告展開が可能になると見込んでいます。

市場が動揺するなかでも、ボトムアップでの投資判断

- 一方で、米住宅市場の鈍化を背景に株価が下落した不動産サービス会社や、決算発表が市場予想を下回った、オンライン融資を手掛ける銘柄などが、マイナスに寄与しました。
- しかし、マイナス寄与となったものの、継続的に収集されてきた顧客データといった強みを持ち、**長期的な成長が期待される銘柄については、株価下落を好機と捉え、投資比率を引き上げました。**
- このように、市場が動揺するなかでも、当ファンドでは引き続き、**ボトムアップでの企業分析に基づいた、長期目線での投資判断を行なっています。**

2018年もフィンテック株式の成長トレンドは継続

- 当ファンドの設定以来、フィンテック株式の原動力となってきた「モバイル決済」や「ブロックチェーン技術」といったトレンドは、2018年も引き続き加速していくものと考えられます。
- こうしたなか、当ファンドでは、**ディープラーニング(深層学習)技術などを活かし、保有するデータ資産を効果的に分析・活用**することで、旧来の手法を取る企業に対して競争優位性を持っている企業に注目しています。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。
また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・フィンテック株式ファンド」のマザーファンドの投資顧問会社である日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからのコメントなどをもとに作成したものです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

運用者の視点

フィンテック企業の直近決算や今後の注目点

【決済イノベーション】

まちまちの内容となるなか、スクエアやアマゾンが好調

- **スクエア**はEPSなどが事前予想を上回ったほか、**アマゾン**は売上などが好調な決算となりました。一方、**アリババ**は増収増益となったものの、EPSが予想を下回るなど、やや冴えない決算内容となりました。

【レンディング／資金調達】

直近決算は冴えないものの、長期的な成長が期待される

- 同分野に関連する企業の直近決算は、全体的に冴えない内容となりました。しかし、長期的な成長につながる強みを持つ企業については、強気に見ています。

【ブロックチェーン
／仮想(暗号)通貨】

スクエアのビットコイン分野に注目

- 足元で仮想通貨市場の変動が高まるなか、関連企業の決算はその影響を受ける傾向がみられました。
- しかし、当ファンドにおいて、決済イノベーションだけでなく、ビットコインの関連銘柄としても注目している**スクエア**の決算では、ビットコイン分野での利益成長がみられました。

Pick Up

AMAZON 【アマゾン】

- 同社の2017年10-12月期決算は、ホリデーシーズンの好調な売上に加え、クラウド事業や広告事業の成長なども背景に、過去最高益を更新するなど、総じて好調な内容となりました。
- 最近では、同社が金融機関と連携し、**顧客に銀行口座に似たサービスを提供する可能性がある**と報じられました。足元では、同社に対する課税強化の動きが懸念されていますが、このサービスが実現し、若年層や銀行口座を持たない層にアプローチできれば、同社の市場領域はさらに拡大すると期待されます。

Pick Up

LENDING TREE
【レンディングツリー】



※写真はイメージです。

- 直近決算でEPSが市場予想を下回ったものの、同社のオンライン融資仲介サービスは、資金調達のプラットフォームとして、今後も重要な役割を果たすとみえています。
- **同社は米税制改正の恩恵を受けると見込んでいます**。住宅ローン金利が控除される借入額の上限が引き下げられるため、住宅購入者が借入額を低く抑えようと、より慎重にローンを選択するようになるなか、同社は最適なローン商品選びをサポートするガイド役として、高い優位性を持っているとみえています。

Pick Up

SQUARE 【スクエア】



※写真提供: スクエア

- 2017年10-12月期決算において、同社の売上高およびEPSは、ともに市場予想を上回りました。
- 同社が注力する個人向け送金アプリ「Cash App」の月間利用者数は、2017年12月時点で700万人を超えました。同アプリでは**ビットコインの売買が可能になり、注目が集まっています**。ビットコイン決済については、米小売業者の中で前向きな見方が広がっており、同社のビットコイン分野の成長が期待されます。

※上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆するものでもありません。

上記は、日興アセットマネジメントが「グローバル・フィンテック株式ファンド」のマザーファンドの投資顧問会社である日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからのコメントなどをもとに作成したものです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<ご参考>

私たちの生活を大きく変えつつあるフィンテック

- 人々の生活の利便性を大きく高めると期待される数々のフィンテック。既に実現しているものから、近い将来実現すると期待されているものまで、フィンテックが生活を変える事例をご紹介します。

決済イノベーション

- スマホのQRコードをかざし、**キャッシュレス**で支払いが可能
⇒ 飲み会では、自動で**割り勘**の金額が計算され、メンバーがそれぞれOKを押すだけで支払が完了
⇒ 購入履歴は自動で**家計簿アプリ**に記録され、ポイントや口座情報などと併せて一括管理
- スマホすら要らず、指紋や網膜による**生体認証**によって、手ぶらでの支払が可能に
⇒ さらには、**レジがなくなり**、商品を受け取り店を出るだけで、自動的に支払いが完了するように



レンディング／資金調達

- クラウドの会計システムに財務情報を登録しておく、その情報が自動的に**オンライン融資**業者に送られ、財務状態に改善がみられれば、すぐに以前より低い金利が適用されるように

資産運用

- マーケットが荒れるなかでも、**AI（人工知能）を搭載したロボット・アドバイザー**が多様な金融商品の値動きをチェックして、最適な投資が行なわれるため、一喜一憂する必要がなくなる



ブロックチェーン／仮想通貨(暗号)通貨

- 銀行間でのデータ共有や証券取引が**ブロックチェーンを用いたシステム**で行なわれる
⇒ ブロックチェーンを用いた送金システムにより、海外送金の手数料が安くなる
- コンビニをはじめとして、病院や郵便局など幅広い場面で**仮想通貨による支払い**が可能に



経済産業省「FinTech ビジョン」など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記の事例および写真はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

組入上位10銘柄 (2018年3月末時点)

(銘柄数: 49銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	SQUARE INC - A スクエア	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	7.4%
2	AMAZON.COM INC アマゾン・ドット・コム	アメリカドル	アメリカ	小売	5.3%
3	TENCENT HOLDINGS LTD テンセント・ホールディングス	香港ドル	中国	ソフトウェア・サービス	4.1%
4	LENDINGTREE INC レンディングツリー	アメリカドル	アメリカ	銀行	3.9%
5	ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR アリババ・グループホールディング	アメリカドル	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	3.9%
6	ATHENAHEALTH INC アテナヘルス	アメリカドル	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	3.5%
7	APPLE INC アップル	アメリカドル	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	3.5%
8	PAYPAL HOLDINGS INC ペイパル・ホールディングス	アメリカドル	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.4%
9	SBIホールディングス	日本円	日本	各種金融	2.9%
10	BAIDU INC - SPON ADR バイドゥ / 百度	アメリカドル	ケイマン諸島	ソフトウェア・サービス	2.8%

※上記データはマザーファンドの状況です。比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

「グローバル・フィンテック株式ファンド」
Morningstar Award “Fund of the Year 2017”
国際株式(グローバル)型 部門 最優秀ファンド賞



当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として、モーニングスター独自の定量分析、定性分析に基づき、2017年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式(グローバル)型 部門は、2017年12月末において当該部門に属するファンド493本の中から選考されました。

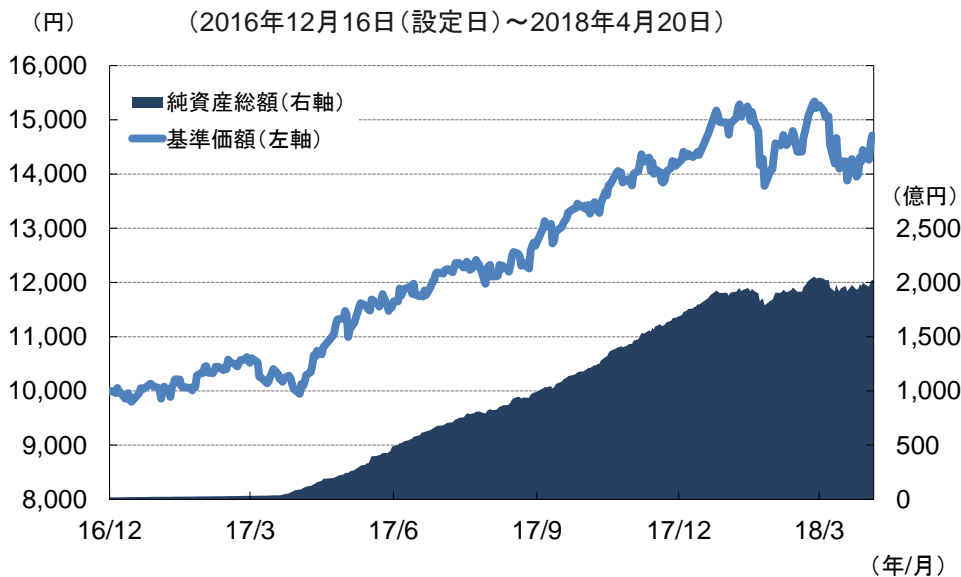
Morningstar Award “Fund of the Year 2017”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

※当資料において、「1年決算型」は「グローバル・フィンテック株式ファンド」を指します。

基準価額と純資産総額の推移

1年決算型



<分配金実績>

2017年12月

0円

<基準価額>

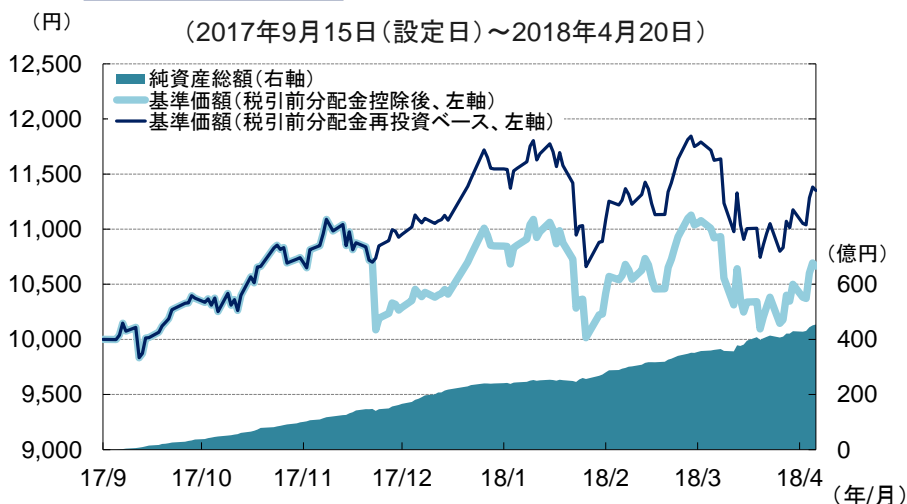
14,673円

<純資産総額>

2,018.59億円

(2018年4月20日現在)

年2回決算型



<分配金実績>

2017年12月

650円

<基準価額>

(税引前分配金再投資ベース)

11,351円

(税引前分配金控除後)

10,664円

<純資産総額>

453.99億円

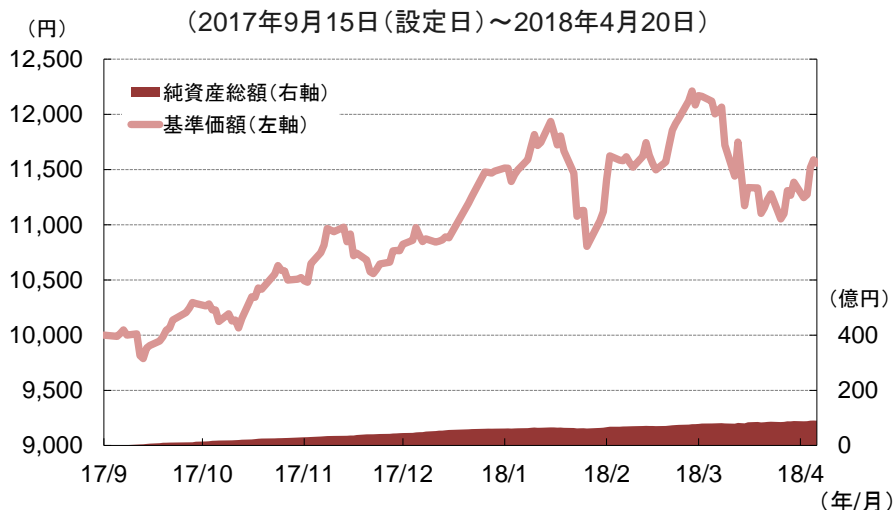
(2018年4月20日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移

為替ヘッジあり



<分配金実績>

2017年12月

0円

<基準価額>

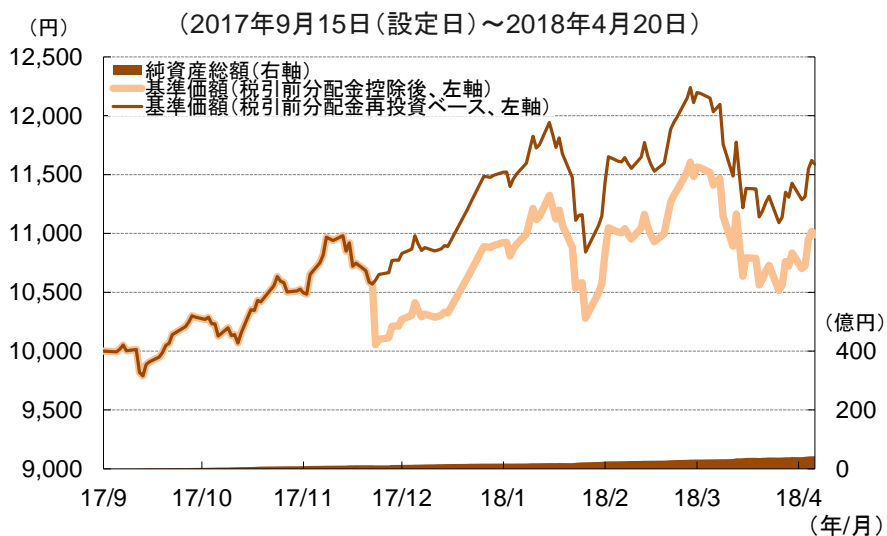
11,557円

<純資産総額>

89.98億円

(2018年4月20日現在)

為替ヘッジあり・年2回決算型



<分配金実績>

2017年12月

550円

<基準価額>

(税引前分配金再投資ベース)

11,588円

(税引前分配金控除後)

10,987円

<純資産総額>

42.66億円

(2018年4月20日現在)

※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の、分配金は税引前のそれぞれ1万口当たりの値です。
 ※税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
 ※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ファンドの特色

- 1 世界の株式の中から主にフィンテック関連企業の株式などに投資します。
- 2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。
- 3 お客様の運用ニーズに応じて、決算頻度や為替ヘッジの有無が異なる4ファンドからお選びいただけます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

お申し込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を促すために「グローバル・フィンテック株式ファンド」「グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)／(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)」へのご理解を促すことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申し込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

※当資料において、「1年決算型」は「グローバル・フィンテック株式ファンド」を指します。

お 申 込 め も

商品分類	追加型投信／内外／株式
ご購入単位	購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。
ご購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
ご購入不可日	購入申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託期間	<1年決算型> 2026年12月7日まで(2016年12月16日設定) <年2回決算型>／<為替ヘッジあり>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 2026年12月7日まで(2017年9月15日設定)
決算日	<1年決算型>／<為替ヘッジあり> 毎年12月7日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型>／<為替ヘッジあり・年2回決算型> 毎年6月7日、12月7日(休業日の場合は翌営業日)
ご換金不可日	換金請求日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、換金請求の受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
ご換金代金のお支払い	原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料率(スイッチングの際の購入時手数料率を含みます。)は、 <u>3.78%(税抜3.5%)</u> を上限として販売会社が定める率とします。 ※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

※ 販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬	純資産総額に対して年率1.89%(税抜1.75%)を乗じて得た額
その他費用	目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。 ※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することはできません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 日本証券業協会
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 [ホームページ]http://www.nikkoam.com/ [コールセンター]0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

グローバル・フィンテック株式ファンド

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○			
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
株式会社神奈川銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第55号	○			
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第11号	○		○	
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第21号	○			
株式会社清水銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第6号	○			
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社証券ジャパン	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第170号	○			
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
株式会社富山銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○			
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○		○	
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
岐阜信用金庫	登録金融機関	東海財務局長(登金)第35号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○		○	
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・フィンテック株式ファンド」「グローバル・フィンテック株式ファンド(年2回決算型)」(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジあり・年2回決算型)へのご理解を高めたいとすることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀IT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)

グローバル・フィンテック株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	
エイチ・エス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡地証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第5号	○			
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
西日本シティIT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○			
浜銀IT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行 (委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

(50音順、資料作成日現在)